

アドバイス

◆ デザイナーにとって資格とは

デザイナーになるための資格は存在しません。あなたが「デザイナー」という肩書の名刺をつくったとしても、法律には触れませんし、とくに問題ありません。では、だれでもデザイナーになれるのでしょうか？残念ながら、あなたに実力がなければ、たとえ自分でデザイナーを名乗ったとしても、どこからも仕事が来ないでしょう。

デザイン学科の学生のみなさんは、まずはデザイナー養成を目的とした本学のカリキュラムを最大限に生かし、しっかり勉強して実力をつけることが重要です。さまざまな科目を通して身につけた知識や能力は、作品という成果物として形になったとき、目に見える実力として示されます。それ以上の実力の証明はありません。

では、デザイナーをめざす学生にとって、資格は必要ないのでしょうか？きっとそうではありません。さまざまな資格を取ることは、作品だけでは伝わらない、あなたの能力の証明となるでしょう。

◆ たかが資格 されど資格

友人から聞いた話ですが、108個もの資格を持っている人が身近にいるそうです。資格を取ることが趣味なのか、すごい努力家なのかわかりませんが、びっくりしました。とてもマネできそうにありません。でも、もっと驚いたことは、どうやらその人は、いずれの資格を使って仕事をしているのでもないということでした。そこで彼を資格取得に駆り立てた理由まではわかりませんが、煩惱の数ほど資格を取っても、目的がなければただの話のネタでしかないと

いうことです。要は自分にとって本当に必要な資格を取ることです。ときどき就職活動をはじめた学生から、次のような質問を受けます。「履歴書に書ける資格がないので、だれでも取れる資格はありませんか？」この質問に対する答えはいつも同じです。「だれでも取れる資格なら取る意味がないだろ？」なかなか取れない難しい資格ほど、値打ちがあるのです。

◆ 具体的なアドバイス

インテリアや住宅設計など、住環境系の職業に就きたい人は、資格はできるだけ取った方がいいです。建築士が一つの目標となるでしょう。まずは「二級建築士」をめざせばいいですが、在学中に「一級建築士」の受験資格を得ておくことをお勧めします。※工業高校などで建築に関して学び、必要な単位を取った人は、本学在学中から二級建築士を受験できる場合があります。インテリアデザイナーをめざす人は、「インテリアプランナー」を取ると思いますが、同時に「二級建築士」、できれば「一級建築士」を持っていると仕事の幅が広がります。「インテリアコーディネーター」は、ハウスメーカーに勤める人や住宅設備メーカー、家具の販売などに関わる人にお薦めです。

プロダクト系の職業につきたい人は、「プロダクトデザイン（PD）検定 1級、2級」の資格をとることをお勧めします。さらに「カラーコーディネーター」など、関連する分野の資格を取ることもいいでしょう。

メディア系の職業に就きたい人は、本学デザイン学科が認定教育校となっている CG-ARTS 協会の資格をお薦めします。メディア系の授業が、ずばりこれらの資格の受験対策になります。

おすすめ
受験資格

在学中に受験可能な資格試験

受験資格に制限がない資格試験なら在学中から挑戦できます。お薦めは、インテリアプランナーやインテリアコーディネーター、プロダクトデザイン検定、カラーコーディネーターやCG-ARTS協会主催の資格などです。なぜ、これらの資格は、だれでも受験できるのでしょうか？答えはズバリ、学生に受験してほしいからです。だから、みなさんにとって、ねらい目だといえます。あとは、デザインのどの分野に進む人でも、CAD検定は挑戦してみても損はありません。

インテリアプランナー	インテリアコーディネーター
商業施設士（補）	福祉住環境コーディネーター（1級・2級・3級）
CAD 利用技術者 （2次元CAD利用技術者 基礎・2級・1級 3次元CAD利用技術者 2級・準1級・1級 3Dプリンター活用技術検定）	
宅地建物取引士	カラーコーディネーター（アドバンス・スタンダード）
CGクリエイター検定（エキスパート・ベーシック）	CGエンジニア検定（エキスパート・ベーシック）
画像処理エンジニア検定（エキスパート・ベーシック）	Webデザイナー検定（エキスパート・ベーシック）
マルチメディア検定（エキスパート・ベーシック）	
CG-ARTSマイスター （CGマイスター・クリエイティブマイスター・エンジニアリングマイスター、デジタルメディアマイスター）	
プロダクトデザイン検定（1級・2級）	3Dプリンター活用技術検定

卒業後に受験可能な資格試験

建築設計の仕事に従事する人は「一級建築士」が目標となるでしょう。まずは、受験資格を取得できるよう、在学中に指定科目の単位を取りましょう。「一級建築士」は合格率が低い難関資格ですので、まずは「二級建築士」を取得するといいいでしょう。インテリアデザイナーをめざす人には、在学中から受験できる「インテリアプランナー」をお薦めしますが、卒業後に「二級建築士」も取得しておくことで仕事の幅が広がります。

建築士（一級）	建築士（二級）
木造建築士	建築施工管理技士（1級・2級）